

平成25年度

新潟県包装研究会

- 開催日時：平成26年1月17日(金) 13:00～16:10 ●主 催：公益社団法人日本包装技術協会(JPI)
 ●会 場：朱鷺^{とき}メッセ(新潟コンベンションセンター)301会議室(新潟市)

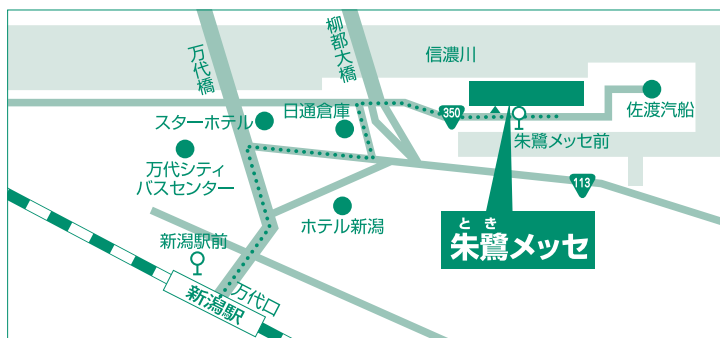
当会では、会員サービスの一環として、年1回、新潟県にて包装研究会を開催しており、毎年地元の会員企業を中心に多くの方にお集まり頂き、好評頂いております。
 本年度のプログラムでは、軟包装及び複合容器の商品開発事例と今後の方向性についてと、ヒット商品から予測する今後の潮流についてご説明いただきます。
 どうぞこの機会に、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

講演プログラム

時間	講演内容
13:00 14:30	テ ー マ：『パッケージソリューション～軟包装及び複合容器の開発について～』 講 師：凸版印刷株式会社 生活環境事業本部 生活環境製造事業部 商品開発部 島村 悦夫 氏 講演内容：トッパンは生活者にとっての安心・安全を基本に環境・ユニバーサルデザイン・機能性をキーワードとしたパッケージの提供と商品ブランドの店頭訴求力・情報伝達力強化に向けトータルソリューションの提供を行っています。 本講演では、特に上記のキーワードに沿った商品開発として、透明バリアフィルムの素材開発から、これらを使用した軟包装及び複合容器への展開など、最近の商品開発事例から今後の方向性を解説します。
14:40 16:10	テ ー マ：『「2013ヒット商品」から今後の潮流を予測する～ヒットの裏側にある生活者の意識・行動を紐解き、「これから」を予測する～』 講 師：株式会社博報堂 第一プランニング局 シニアストラテジックプランニングディレクター 鶴 真彦 氏 講演内容：毎年年末恒例の「ヒット商品番付」。それを単に眺めているだけでは、その年の流行りや世相を思い出すだけで終わってしまいます。「何故、その商品はヒットしたのか?」「ヒット商品の裏にある生活者の意識・行動の変化は?」「そこで見出された生活者の意識・行動変化は一時的なものなのか、永続的なものなのか?」。こういった視点で分析を加えることが、これからの潮流、流行を予測し、様々なビジネス活動のヒントになってくれます。本講演では、博報堂の「生活者発想」でヒット商品を分析し、2014年そしてこれからの生活者の変化を予測します。世の中の流れを自らのお仕事、日々の生活に取り組みたいとお考えの皆様は拝聴いただければ幸いです。

開催要領

- 日 時：平成26年1月17日(金) 13:00～16:10
 ■会 場：朱鷺(とき)メッセ
 新潟コンベンションセンター3F 301会議室
 新潟市中央区万代島6-1(案内図参照)
 ■参加料：公益社団法人日本包装技術協会の会員の方：無料
 社団法人新潟県食品産業協会の会員の方：無料
 一般の方：一講演につき3,150円(税込)
 ■定 員：80名
 下記申込書に記入いただきFAXにてお送り下さい。
 お断りする場合のみご連絡します。
 当方より連絡がない場合は直接会場にご来場下さい。



お問合せ・お申込み先

公益社団法人日本包装技術協会 新潟県包装研究会係 担当:竹内
 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「平成25年度新潟県包装研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示、提供することはありません。

平成25年度新潟県包装研究会

申込用紙

担当:竹内(FAX.03-3543-8970)

No.

会社名							
所在地	(〒)						
電 話					FAX		
参加者	氏名		所属 役職		e-mail		
	氏名		所属 役職		e-mail		
	氏名		所属 役職		e-mail		
(該当する方に○をつけて下さい) (公社)日本包装技術協会会員 ・ (社)新潟県食品産業協会会員 ・ 一般							